

星輝子「呪いの館には、行っちゃいけないんだぜえええ
え！！！！」

果糖 量多

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

アイマスと筋肉少女帯は昔から合うとされていていましたが、上手くミックス?できたかな?

星輝子「呪いの館には、行っちゃいけないんだぜええええ!!!」

輿水幸子「とととつというわけで、カッコワイイボクと仲間たちが心霊ロケにやってきましたよう」

白坂小梅「… 幸子ちゃん… 声… … 震えてるよ… ?」

脇山珠美「いやあ、輝子殿は『ガナリ』? が上手いですなあ!」

浜口あやめ「幸子殿も流れるように状況説明を… ! 流石です!」

幸子「フフーン、バラエティ番組で鍛えられましたからね」

輝子「… それで… この館で… 私たちは何をすればいいんだ… ?」

小梅「… プロデューサーさんは… 入れば分かるつて」

珠美「とりあえず、中に入ってみましょう!」ギイイイ

あやめ「おお… なかなか雰囲気がありますね」

珠美「うう… 暗いです」

輝子「何か張り紙がある… な… … 読んでみるぞ… えつと… … 『マトangoというキノコは人に寄生いたします。寄生された者はキノコ人間となって、人を見つけると仲間を増やすべく襲いかかってくるでしょう。マトangoに見つからないよう、無事にこの館から脱出しよう!!』… だつて」

小梅「パニックホラーの定番みたいなシチュエーション… … だね」

幸子「なんでもいいから、こんな薄気味悪いところから早く出たいですね…」バタン

幸子&珠美「「キヤーーー!!!」」

輝子「… 急にドアが閉まったな…」

あやめ「どうしたんですか? 珠美殿? ロケバスでは絶対に怖がらない、と自信満々に言っていたではないですか?」

珠美「ちよつ、ちよつと驚いただけです!!」

輝子「幸子ちゃん… 大丈夫… か?」

幸子「… ハツ!? えつ、ええ、どうかしましたか? ちょっとボク、まばたきしてて何が起こったのか覚えてなかったのだから」

輝子「… それは、一瞬気を失ったってことじゃないのか?」
あやめ「それはそうと、小梅殿。先ほどから何処を眺めているのですか?」

小梅「… うわー… スゴい… よ! あやめちゃん… アレが… マタンゴ… だよ」

珠美「小梅殿おお!! そんな冷静に眺めてないで早く教えてください!!!」

輝子「だいぶ近い… な… というか、待っていてくれたみたいだ…」

幸子「キユウ

あやめ「幸子殿、気を確かに! さあ、早く逃げましょう!! 捕まると不味いみたいです!!」

小梅「… マタンゴになりかけてるところも… 見てみたいな… クギツケー

輝子「… よくみると… キノコの特長を上手くとらえてる… ぜ」クギツケー

あやめ「二人とも、動いてー!!」

珠美「(近くにあったモップをとり)… ここは、珠美が引き付けておきます! その隙にあやめ殿はみんなを連れて逃げてください!!」

あやめ「珠美殿! かたじけないっ!!」ダダダー

数時間後

幸子「ハアハア、この館、仕掛けが多過ぎますよ!」

あやめ「肖像画の並び替えに、血塗られた鍵盤の謎、金庫の番号などなどを解いて、ようやく大広間の鍵が手に入りましたね」

輝子「うん… すごく… 大変だったな…」

小梅「… じゃあ… 開ける… ね」ガチャリンコ

幸子「これはまた… だだっ広いですねえ」

あやめ「これまでの部屋とは違って、家具も何もありませんね」

小梅「そうだね…。特に目立ったギミックも…。ないみたい。」「ゾロゾロ」

輝子「…ん？…ゾロ…ゾロ？」ウシロフリムキー

幸子「うわああ!!!珠美さんに、キノコ人間が、いっぱい!!!」

あやめ「ぷつ、珠美殿。そのキノコの被り物は何ですか？」

小梅「珠美ちゃん…かわいい…。マタンゴの皆さんのは…すぐリアルで…かつこいい…です…」

輝子「…ん？なんだ、カメラさん？…これを言えば…いいのか？」ペラッ

輝子「フヒツ…それを被っていると…たまみちゃん…背が小さいのが…目立たなくなるから…いいねえ…」

珠美「よくないっ!!!」

あやめ「珠美殿、申し訳ないですが、これ以上犠牲者を出すわけにはいかないでござるっ！御免っ!!」ニン

珠美「ふんっ!!変な被り物をしていたとしても、この珠美、そう簡単にやられるわけにはいきませんっ!!」ブンッ!

あやめ「おつ、やりますねえ…。一度、珠美殿とは本気で戦ってみたいと思っていたのですよ…」

珠美「では、真剣勝負といきましょう!!」

マタンゴたち「「タمامミ!タمامミ!」」

輝子「…なんだが、熱い展開…だな…盛り上がってきたぜええええ!!!」

小梅「…あやめちゃんも…がんばれー!…あの子も応援してるって…」

幸子「ヒイイイイイ!!もうこんなところにはいられませんっ!!どこかボクを連れていってくださいイイイイ!!」

輝子「いいぜえ!!!遠く!高く!!放り投げてやるぜえええ!!!ヒイイイイヤツツツハアアア!!!」

おわれ